

とみや議会だより

第17号



▲二ノ関の晩秋

総合病院誘致へ決議	……………P 2～
令和元年度 決算審査	……………P 4～
一般質問	……………P16～
委員会活動	……………P24～

2020年(令和2年) 11月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編 集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622

富谷市議会 総合病院誘致へ決議



総合病院の誘致に関する決議

平成28年に策定された富谷市総合計画が目指す将来像である「住みたくなるまち日本一」を実現するためには、将来にわたり、市民一人ひとりが健康で、安心して暮らしていけるまちづくりを進めることが重要である。そのためには、総合的な医療の充実が必要不可欠であり、重要な施策となっている。

しかし、近隣に大規模工業団地を抱える本市では、今後も人口増加が見込まれるものの、大規模な総合病院は設置されておらず、また、総合計画策定時の住民意識調査において、「病院などの医療施設の誘致」は、本市の取り組むべき施策として第2位となっているなど、医療施設の誘致は、多くの市民の長年にわたる願いであると同時に、本市の大きな課題となっている。

今回、宮城県立がんセンターと東北労災病院、仙台赤十字病院について、県と各設置者が連携・統合に向けた協議が開始されることが明らかになり、本市が当該3病院の統合・移転を想定し、いち早く、県に誘致を表明したことは、本市のみならず「富谷・黒川地域」の今後さらなる地域医療の充実に資するものであり、その実現が強く望まれる。

よって、本市議会は、本市が進める宮城3病院の統合・移転を想定した「総合病院の誘致」実現に向けて、全面的に協力・支援を行うことを、ここに決議する。

令和2年9月17日

富谷市議会

富谷市議会は、市とともに、本市への総合病院の誘致に向けて、決議をしました。総合病院の誘致は、市民の長年の願いであり、医療による安心、信頼の確保に大きく寄与するものです。また、本市のみならず富谷・黒川地域の医療の充実に資するもので、誘致の実現を求め、議会としても全面的に協力することを全会一致で決議しました。

宮城3病院連携・統合

富谷市、誘致に名乗り

移転想定、用地確保へ

富谷市と東北労災病院、仙台赤十字病院、宮城県立がんセンターの3病院が、富谷市と黒川地域の連携・統合に向けた協議を開始した。富谷市は、この機会に、3病院の誘致に名乗り、全面的に協力・支援を行うことを、ここに決議した。

富谷市は、がんセンター、労災病院、赤十字病院の3病院を誘致する意向を示している。富谷市は、この機会に、3病院の誘致に名乗り、全面的に協力・支援を行うことを、ここに決議した。

富谷市は、がんセンター、労災病院、赤十字病院の3病院を誘致する意向を示している。富谷市は、この機会に、3病院の誘致に名乗り、全面的に協力・支援を行うことを、ここに決議した。

富谷市、誘致に名乗り

(河北新報 令和2年9月9日から転載)

新型コロナウイルス関連 富谷市独自支援対策

第2回臨時会、第3回定例会において可決された支援対策を掲載します。(抜粋)

インフルエンザ予防接種費用助成事業 インフルエンザワクチンの 接種費用を助成します

インフルエンザ流行に伴う新型コロナウイルス感染症対応の医療崩壊を防ぐため、生後6カ月以上、65歳未満の市民を対象に、インフルエンザワクチン接種費用の一部を助成します。

【対象者】 生後6カ月以上、65歳未満の市民
(65歳以上の方は、別の事業で助成をします)

【助成額】 1,500円

【接種期間】

令和2年10月26日～令和3年1月末まで

議会での審議の質疑内容(抜粋)

問 子どもは2回接種ですが、助成の内容は。また、接種料金の支払や助成の方法はどのようになりますか。

答 生後6カ月から12歳までは、2回分とも1,500円ずつ助成します。助成方法は、一旦、医療機関で10割負担していただき、その領収書で、所定の申請書にて市に申請をしていただくことで助成をします。

新生児特別定額給付金事業の拡充

すでに実施している事業で9月30日までの出生の新生児としていたものを、翌年3月31日までとしました。

【対象要件】

令和2年10月1日～令和3年3月31日まで出生した新生児

【給付金】 新生児1人当たり10万円



事業継続支援事業

本年7月から12月までのうち、1カ月の売り上げ高等が、前年同月より、20%以上減少している事業者を支援します。

これまでの国や県、本市の支援を受けていた事業者も対象になります。

【支援額】 20万円

【申請期限】 令和3年2月1日まで

市内活動応援セット配布事業

市内で、公益的な活動を継続的に行っている市民活動団体等に、活動時の感染予防に使用する備品等を配布します。

【配布セット内容】

非接触型体温計、消毒液、マスク

【申請期限】 11月末まで(予定)

その他、国の支援事業や市独自の支援事業が打ち出されています。
詳しくは市広報誌や市ホームページをご覧ください。



令和元年度 決算 住みたくなるまち日本一を 目指す主要な取り組み



令和2年第3回定例会は、9月1日から9月17日までの17日間の会期で開かれました。

令和元年度一般会計決算、各種特別会計決算および水道事業会計決算、令和2年度各種会計補正予算、条例の改正、人事案件などが市長より提出され、総合病院の誘致に関する決議などの議員からの発議を含め、27議案の全議案が原案通り可決しました。

一般質問は、14人の議員から市政を問う27件の質問がなされ、活発な論戦が繰り広げられました。

小中学校空調設備整備事業

..... 4億9,843万円

児童生徒の教育環境の整備に、全小中学校にエアコンを設置しました。本年のコロナ禍においても、その効果が発揮されました。



保育所関連事業

.....9億2,243万円

認可保育所への補助金等および認可外保育料の一部助成等の支援を行い、保育環境の充実を図りました。



街道まつり運営事業

..... 563万円

「富谷宿」が2020年に開宿400年を迎えるにあたり、市民総参加の「富谷宿街道まつり」を開催しました。



町内会館整備事業
..... 5,597万円

杜乃橋二丁目会館新築工事をはじめ、各町内会館の屋根外壁等改修工事を行いました。



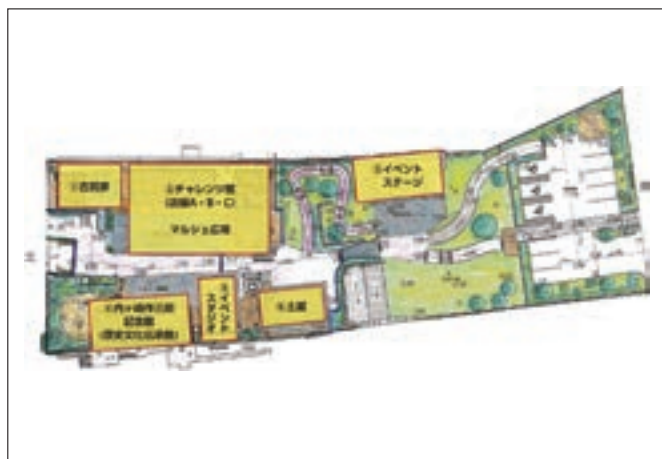
放課後児童クラブ整備・運営事業
.....2億5,902万円

富谷小学校児童クラブ棟を整備しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため消毒等の徹底を行い、安全・安心な運営に努めました。



市道穀田三ノ関線道路改良事業
.....1億6,905万円

富谷小学校・富谷中学校周辺の朝夕に発生する渋滞を解消するため、整備を進めました。



“とみやど” 整備事業
.....1億7,100万円

「(愛称) とみやど」富谷宿観光交流ステーションとして、令和3年春オープンを目指し整備を進めています。

●●●その他主なつかいみち●●●

- 子ども医療費助成事業
2億6,558万円
- 住民検診事業 1億5,311万円
- 橋梁維持管理事業 6,907万円
- (仮称)やすらぎパークとみや
整備事業 1,977万円
- 中学生海外研修派遣事業 519万円

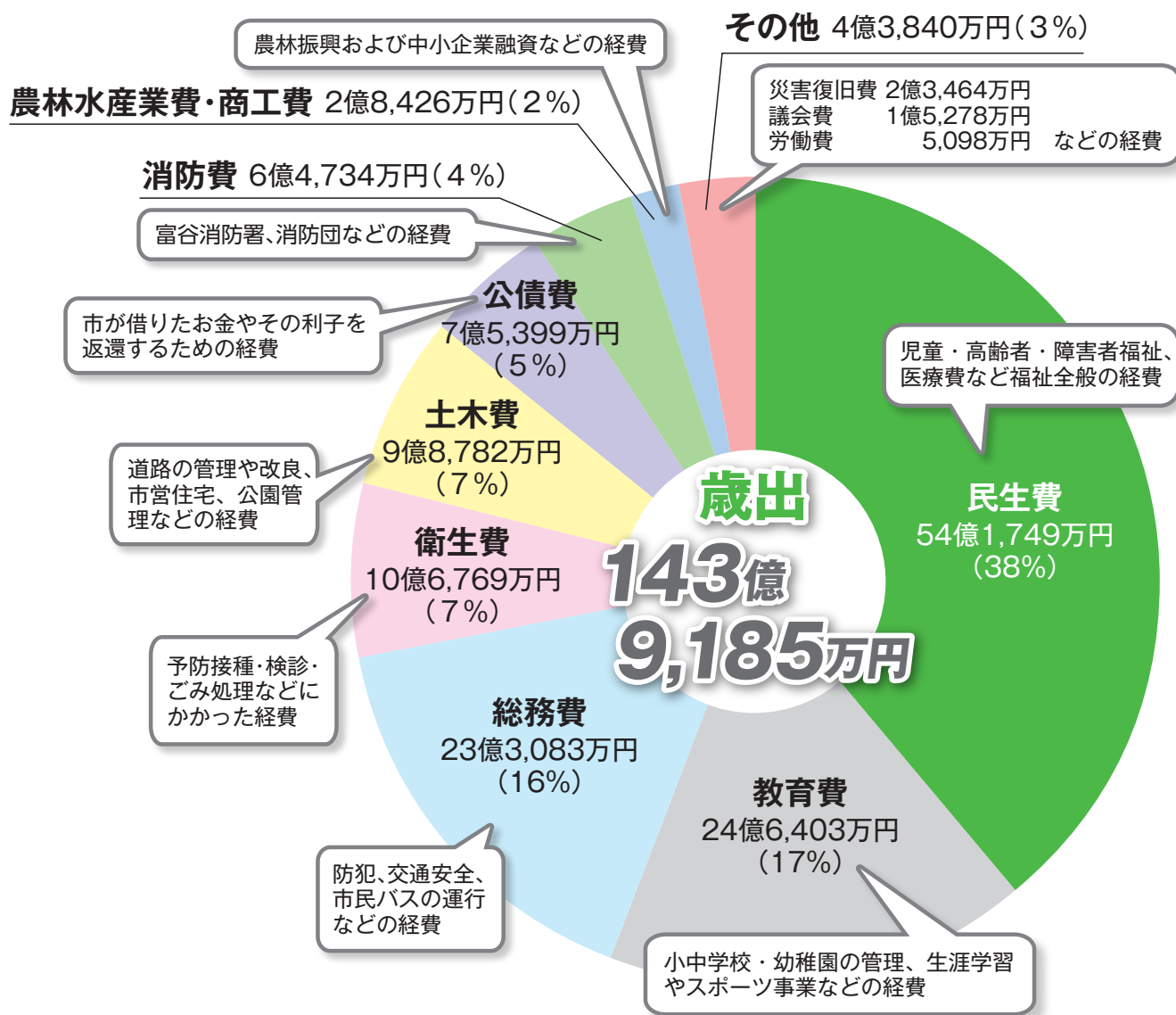
- 一般廃棄物収集運搬処理事業
2億3,407万円
- 側溝整備事業 7,833万円
- 妊婦支援事業 3,433万円
- 敬老祝い事業 1,693万円
- 農作物有害鳥獣等駆除事業
364万円

エアコン設置

一般会計歳出 143億9,185万円

前年度比 15.6%増

決算
審査



令和元年度 各種会計決算の状況

種別	歳入	歳出	収支差引	
一般会計	153億9,330万円	143億9,185万円	10億 145万円	
特別会計	国民健康保険	38億8,520万円	38億5,171万円	3,349万円
	下水道事業	8億5,926万円	8億3,226万円	2,700万円
	介護保険	26億9,690万円	26億4,034万円	5,656万円
	後期高齢者医療	3億6,953万円	3億6,053万円	900万円
水道事業	収益的収支	12億1,469万円	10億5,886万円	1億5,583万円
	資本的収支	1,790万円	2億4,831万円	△ 2億3,041万円

決算審査

令和元年度
決算認定

全ての小中学校に

歳入 153億9,330万円

歳出 143億9,185万円

一般会計

項目	金額	割合
市税	62億9,443万円	41%
地方交付税	16億9,698万円	11%
国・県支出金	32億6,927万円	22%
市債	4億9,560万円	3%
譲与税・交付金	12億4,765万円	8%
国や銀行から借りたお金	-	-
地方消費税などで、国から一定の基準で譲与されたお金	-	-
全国どこでも一定の行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金	-	-
国や県が使いみちを決めて交付するお金	-	-
自主財源	86億2,000万円	56%
依存財源	67億7,330万円	44%
市税	62億9,443万円	41%
皆さんが市に納めた税金 (市民税、固定資産税、軽自動車税など)	-	-
平成30年度から令和元年度へ繰り越したお金	-	-
繰越金	11億9,328万円	8%
諸収入	5億1,460万円	3%
使用料・手数料	1億6,588万円	1%
給食費、雑入など	-	-
その他	5億1,561万円	3%

歳入歳出のあらまし

令和元年度の一般会計の決算は、歳入が153億9,330万円(前年比12.8%増)、歳出が143億9,185万円(前年比15.6%増)となりました。

歳入歳出増加の主な要因は、市税や地方交付税といった一般財源の伸びに加えて、令和元年台風19号に係る災害復旧事業や平成30年度からの繰越金等を活用した小中学校へのエアコン整備、基金を活用した17年ぶりとなる市債の繰上げ償還への着手などによるものです。歳入、歳出ともに富谷町時代を含めて、過去最高の決算規模となりました。

特に、小中学校冷房設備事業においては、県内でいち早く導入を決断し、児童生徒の教育環境の整備が図られたことは、本年のコロナ禍の状況下においても大きく貢献し、その効果が発揮されたものと評価します。

財源比率については、自主財源比率は56%、依存財源は44%です。

実質収支については、7億2,222万円の黒字となり、令和2年度の事業に充てるほか、事業の経済的安定に備え、令和2年度の補正予算として基金に積み立てます。

7 | とみや議会だより 第17号
2020年(令和2年)11月1日

令和元年度 決算審査および監査意見 こんな質疑がありました

令和元年度の一般会計・特別会計および企業会計について、議長を除く17人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審議しました。同委員会は9月9日から15日まで審査を行い、一般会計、国民健康保険特別会計は賛成多数、後期高齢者医療特別会計等は全会一致で賛成となり、原案のとおり認定するものと決定し、定例会最終日の本会議において可決認定しました。

監査委員の 意見

令和元年度一般会計決算は前年度比歳入12・8%、歳出15・6%増加し、歳入歳出ともに過去最高となっております。特別会計決算は前年度比歳入1・7%、歳出は1・5%増加しました。形式収支、実質収支ともに黒字、単年度収支においても黒字となっております。

一方で、収入未済額の縮減対策や事務処理の適正化に向けては、さらなる改善が求められます。また、今後は不足の事態に備えた行財政運営が求められます。これまでに以上、庁内各部署間の連携を図り、ニーズや費用対効果の検証のもと歳出削減に努められ、受益者負担の適正化、新たな歳入の確保策など、引き続き行財政改革に取り組みられることを強く望みます。

富谷市代表監査委員

眞山巳千子

総務・財政

鷹乃杜 防災センター

問 鷹乃杜防災センターの位置づけと災害時の使用実績は。

答 防災倉庫等も活用し、備蓄を充実させ、地域の防災活動拠点として使用していく考えです。また、昨年の台風19号時は町内会が自主的に避難所を開設しました。

新交通システム 推進事業

問 新たな基幹公共交通の具体化に向けた検討状況は。

答 2030年以降の長期施策として、明石台から泉中央駅間の、地下鉄整備とガイドウェイトランジット整備について、概算事業費などを試算しました。整備費だけで、地下鉄は400から60



▲ ふるさと納税返礼品(一例)

0億円、ガイドウェイトランジットは約170億円と試算しています。

ふるさと納税事業

問 ふるさと納税は、毎年、件数、金額ともに増加していますが、要因は。

答 制度自体が広く国民の間に広がっていること、また寄附サイトを3から7サイトに増やしたこと、多くの方の目に触れ、寄附件数、金額の増えたことと捉えています。

防犯設備整備事業

問 防犯カメラの設置状況は。

答 毎年各中学校区に1台ずつ設置し、5年間で合計25台増やす予定です。今年度は各校区2台目の設置です。

問 設置場所の選定の中で、警察、町内会、学校との協議を行っていますか。

答 行政区長会で意見を求めた経緯があります。その後、警察と協議をして、犯罪性や予防も含め、素人の考え方とは違う視点が一重要だとのことから、現在は警察と相談をしています。

教育・福祉

児童虐待防止

問 国は、全市区町村に子供家庭総合支援拠点を2022年度まで設置することを目標にしていますが、本市の検討状況は

答 本市におきましても昨年より検討しています。資格等を有する人員配置の規定があり、現在、人事部局と協議しているところです。

障がい者支援

問 福祉タクシーの利用

券の助成対象は、重度障がい者等となっておりますが、今後、拡大する考えは。

答 障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画策定に向けて、障がいをお持ちの方にアンケートを取りました。タクシー結果を踏まえ、検討中です。

高齢者

問 街かどカフェは、ひより台一丁目開設ののち増えています。拡大に向けた取組みは。

答 各地区に拡大したいと考えています。開設の手続き等相談は、社会福祉協議会等を受けています。

成人祝い

問 令和4年度から成年年齢が18歳に引き下げられますが、成人式に係る市民の希望は。

答 令和4年度に18歳を迎える中学3年生を対象に、アンケートを行いました。その結果、85.2%の方が二十歳の成人式を希望していました。この結果を受け、二十歳で成人式に代わる事業を考えています。

スクールソーシャルワーカー

問 令和元年度は2人体制でしたが、いじめ問題、児童虐待問題等がある中で、人員は足りていますか。

答 ケアハウスやスクールカウンセラー等と連携して取組んでいます。スクールソーシャルワーカーから、不足という声は上がっていません。

産業・建設

交通安全対策

問 通学路の中で、防護柵を設置した箇所を選定基準は。

答 緊急交通安全点検により、交通量が多いにもかかわらず、歩道部に防護柵が未設置であった箇所等が該当します。

シルバー人材センター

問 センターの労働災害発生件数と内容は。

答 昨年は16件発生しており、草刈りで11件、剪定で2件、その他が3件です。

有害鳥獣対策

問 イノシシの捕獲頭数が増えています。被害防止対策は。

答 新たな被害防止策と

とみづら (TOMI+)

して、ICT技術による捕獲を検討しました。

とみづら (TOMI+)

問 とみづら内のシェアオフィスの活用状況と維持管理は。

答 シェアオフィスは満室で、フリー席の入居も当初の計画に近づいています。維持管理費の85%を使用料で賄っており、今後も利用者を募り維持費と同額を目指します。



▲「とみづら」シェアオフィス

緑づくり事業

問 緑化事業について実施町内会がありません。今後は。

答 現在、要望がありません。今後は関係課と協議しながら進めます。

特産品定着推進

問 シヤインマスカット等、特産品の支援策は。

答 新果樹等のPRを行い、生産者を募り、引き続き苗木と資材の調整を継続し、拡大に努めます。



▲街かどカフェ (富ヶ丘北部)

特別会計
公営企業会計

介護保険特別会計

問 コロナ禍により外出自粛が続きました。重症化予防策はどのように実施しましたか。

答 サービス事業所の工夫により、通所型だったものを訪問型に切り替える。また、在宅でできる簡単なストレッチ体操を市広報誌に掲載しました。

問 介護老人保健施設のサービス利用者が、平成30年度が848人に対し、令和元年度が1040人と急増しました。その要因は。

答 三ノ関に「富谷の郷」が開所したので、それが大きな要因と考えます。

問 要支援1・2の方を増やさないとさらなる取り組みが必要と考えます。

答 どのような対策を検討していますか。

答 介護保険事業の中で実施しているものに加え、ゆとりすとクラブ・サロンなどの事業を実施していますので、現行事業の充実に努めます。

問 要介護・要支援認定審査について、申請から結果までにかかる日数、および審査体制はどのようになっていますか。

答 申請から結果に至るまでに要する日数は、おおむね30日です。現在、認定調査員10人に対応しています。そのほか2事業所にも委託しており、申請者が増加した場合にそちらで対応していきたいと考えています。

国民健康保険特別会計

問 国税軽減対象世帯数は。

答 7割軽減世帯1185世帯、5割軽減世帯865世帯、2割軽減世帯696世帯です。

問 加入者世帯の所得200万円以下の割合は。

答 全体の79%です。

問 医療費が全体的に増加していますが、要因は。

答 高度医療を必要とするがんに係る費用、また、腎不全の関係での透析者が前年度よりも増えています。腎不全を改善するための予防事業をさらに推進します。

問 台風19号による一部負担金免除の対象は。また免除を受ける期間は。

答 罹災証明書で、半壊という判定が出た方です。終期は令和2年9月30日です。

問 重症化予防事業において、リスク有の人の医療機関受診率が92・5%ですが、受診されなかった方への対応は。

答 文書案内、電話勧奨、保健師訪問による受診勧奨を行いました。が、

人の意向があり、それ以上は市で勧奨できません。

問 特定保健指導実施状況が低下傾向にあることへの見解は。

答 課題であり、改善策として、動機づけ、積極的支援が必要な方へ、健診会場での初回の面談を試行的に進めます。

問 糖尿病性腎症の重症化予防事業のプログラム策定とは。

答 保健所、黒川地域内町村と共同で、黒川医師会とも連携し、予防のためのプログラムを作成しています。実施は来年度を予定しています。

問 ジェネリック医薬品利用率への見解は。

答 国の目標80%を令和元年度に達成しました。今後さらに推進し、医療費の適正化に努めます。

問 疾病予防事業への参加人数が、前年度よりも少ない理由は。

答 募集をしています。がなかなか参加者が現れない状況です。今後参加者が増えるよう努力します。

討論



一般会計

行財政運営での 黒字収支を評価

賛成 青柳 信義 議員

過去最大規模の歳入歳出決算となりました。主な理由としては、幼児教育・保育の無償化スタートに伴うプレミアム

付商品券の発行、小中学校へのエアコン整備、2年ぶりに待機児童ゼロを達成、富谷小学校放課後児童クラブ棟の整備、富谷宿観光交流ステーション整備に着手、台風19号による災害復旧などを行ったことによるものです。財政面では単年度収支3年連続で黒字を達成することが出来ました。着実な行財政改革の推進による一層の住民サービスを期待し賛成します。

市民要求の 実現を求める

反対 藤原 峻 議員

富谷市の財政状況として、市税は堅調に伸びており、基金は過去最高水準であり、健全財政です。富谷市では市民要望に応

え、多岐にわたる新たな施策を実現しています。しかし、市民の皆さんは市政にさまざまな要求を持ち、実現を望んでいます。今の富谷市であれば、さらに市民要求の実現ができたのではないのでしょうか。障がい者や貧困にある人の住まいへの支援策、待機児童対策、奨学金の増額、とみはずの拡充、障がい者へのガソリンの補助などを求め、反対します。

討論



国民健康保険 特別会計

市民の健康増進に向け 適切な運用

賛成 佐藤 浩崇 議員

国保財政調整基金の一部を活用することで、被保険者の負担軽減が図られたほか、収納率については、全体で86.5%と、

県内でも高い水準を維持しました。総医療費や一人当たり医療費については前年度比増、また、特定健診等の受診率は前年度比減となっているものの、ジェネリック医薬品の利用率は国の目標値80%を上回るなど、各種医療費適正化対策、疾病予防対策は適切になされています。今後とも、市民のさらなる健康増進が図られることを期待して賛成します。

国保加入者の 負担軽減を求める

反対 渡邊 清美 議員

国保財政調整基金残高は、令和元年度末で約13億2989万円です。基金を活用し、国保税の引き下げの実施を検討すべ

きと考えます。子どもが多い世帯ほど保険税が高くなる均等割は、国保だけにある問題です。国保加入者で所得が200万円以下の割合は79%を占めています。全国には、第2子、第3子以降の均等割減免など実施している自治体もあります。富谷市でも検討が必要と考えます。国保加入者の負担軽減のために力を尽くすよう求め反対討論とします。

市立東向陽台幼稚園から 私立認定こども園へ

令和3年3月31日をもって、富谷市立東向陽台幼稚園が閉園され、私立の認定こども園に移行されます。これに伴い、幼稚園の建物を、認定こども園の事業者へ無償譲渡します。

問 建物のみの無償譲渡で、土地は貸付とした理由は。

答 行財政改革を念頭に土地の売却も考えましたが応募がなく、再検討し、建物は築約35年ですので無償譲渡で、土地は貸付でプロポーザルを行いました。

建物を無償譲渡すること、民間事業者が取り壊して建てるとか、そのまま使うなど選択できるようなります。



財産の取得について 小中学校のタブレット端末 1人に1台年内完了予定



問 W i F i 使用での電波障害対策は。

答 校内に新たに光ケーブルを引き、安定化の装置も設置します。

問 L T E 型のタブレット端末の配置は。

答 生徒数のおよそ1割程度を目安に配置します。

問 一般競争入札で、一部不調になったものがありますか、その経緯は。

答 一般入札の参加者はなく、3者の指名にしましたが、うち2者が辞退したものです。

問 入札不調は、5年間の保守契約、5年間の研修要員、なおかつ、教員の経験があり、先生方に I P a d での授業の実践方法を指導、研修のできる人という厳しい仕様要件だからでは。

答 保守に関してしっかりとっていたきたい。また、アップル社の I P a d の使用方法を教える資格を持った方としました。先生方に、しっかりとった研修をするうえで、これは必須と考えました。

意見書

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面しています。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっています。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足が生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されます。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額の確保などが、確実に実現されるよう強く要望します。

提出先 内閣総理大臣ほか

※意見書とは、議会が国や県などに提出する要望書です。

人事

教育委員に

江刺 義夫さん(ひより台)

再任

教育委員の任期満了に伴い、市長より同意を求められ、これを全会一致で可決しました。任期は4年間です。

人権擁護委員に

平間 由美子さん(とちの木)

再任

相澤 昭子さん(原)

新任

関口 智子さん(日吉台)

新任

高世 美枝子さん(成田)

新任

人権擁護委員の任期満了に伴い、市長より推薦され、全会一致で可決しました。任期は3年間です。

正 補 算 予

キャッシュレス決済でポイント還元

令和2年度一般会計補正予算は、5億6687万円を追加し、歳入歳出の予算総額を209億3487万円とするものです。新型コロナウイルス感

染症拡大防止事業に係る所要額（各種支援施策第5弾・第6弾）を計上しています。補正予算による主な事業は以下の通りです。



●●●主なつかいみち●●●

- キャッシュレス決済プレミアムポイント事業 2,100万円
市内加盟店で、キャッシュレス決済で商品等を購入した場合、本市独自のプレミアムポイントを付与（還元）する事業。（購入額の20%、上限5,000円）
- 児童福祉施設職員及び幼稚園職員慰労金支給事業 2,805万円
新型コロナウイルスの感染リスクを抱えながらも、保育業務等が求められた市内対象施設に勤務する職員に対し、一人当たり5万円の慰労金を支給する事業。（対象施設：公立保育所、認可保育所、認可外保育所、児童クラブ、公立幼稚園、私立幼稚園）
- 町内会館感染症予防対策事業 1,046万円
各地区町内会館（47施設）の衛生環境改善のため、空気清浄機や非接触型体温計等を整備。
- 感染症予防対策事業（拡充） 2,394万円
飛沫感染予防の観点から、市内公共施設の職員用事務机や公民館図書室の学習机等にデスクパーテーション等を設置するほか、電話機（PHS等）増設、人権・行政・生活相談所への通信機器導入、各種衛生物品を購入する事業。
- 自動水栓設置事業 3,084万円
感染症予防策として、小・中学校、公民館等市内公共施設のトイレ内手洗い場に自動水栓を設置する事業。（原則、各トイレ1カ所）

問 児童福祉施設職員慰労金支給事業において、支給対象者の基準や支給時期は。

答 令和2年2月21日から令和3年3月31日までの期間で10日間勤務されている方を対象とし、1回目の支給は10月中を予定しています。

問 自動水栓設置事業において各施設のトイレに1カ所設置とした理由は。

答 一つ目は経費です。全て設置とした場合、1億円以上の経費がかかるの見込んでいます。二つ目は、災害時を踏まえた対応です。自動水栓は通電が必要であり、停電の際でも使用できるものを残すという考えです。

臨時会

新型コロナウイルス感染症関係支援策第4弾など 2億3,100万円を補正予算に計上

令和2年第2回臨時会が、7月29日に開かれました。

本臨時会では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に係る支援事業関連経費等2億3100万円の増額と第1号介護保険被保険者の介護保険料減免のための補正予算および小中学校コンピュータ教育事業に必要な物品に1億8898万円、旧可燃ごみ焼却施設解体工事約2億1769万円の請負契約締結など4議案を審議し原案のとおり可決しました。

新生児給付金事業

問 支給要件の3月31日までの期日を、同じ学年度で4月1日に変更できませんか。

答 会計年度での対応のため3月31日までとしています。

小中学校コンピュータ教育事業

問 予備タブレットは確保していますか。

答 各学校十数台ほど準備しています。

問 家庭への持ち帰りに

おいて盗難、法令遵守の観点で問題はありますか。

答 クラウド運用として、セキュリティポリシーを市教委で定めます。

キャッシュレス決済促進事業

問 キャッシュレス決済促進事業の詳細と事業所数の見込みは。

答 事業者向け説明会開催、導入店舗掘り起こし、導入支援を行います。事業所数は、50事業所を見込んでいます。

防災用備蓄品整備事業

問 段ボールベッドの備蓄は。



▲ 段ボールベッド

答 初動の最低限の数として、今回1000セットほど購入し備蓄します。

防災協定を結び非常時に搬入も考えています。

問 ベッドの設置にかかる時間、日数は。

答 必要であればすぐにも設置できます。

児童虐待・DV対策等総合支援事業

問 コロナの影響でさまざまな事態が起きています。相談がきたときの連携先は。

答 相談者はさまざまな問題を抱えており、まずはニーズをお聞きして必要な関係機関と連携しながら相談体制をとっています。

●●● 補正予算の主なつかいみち ●●●

新生児特別定額給付金給付事業	1,800万円
インフルエンザ予防接種助成金	5,187万円
新型コロナウイルス感染防止対策補助金	1,650万円
中学校コンピュータ教育事業	8,472万円

第2回臨時会(7/29)・第3回定例会(9/1~9/17) 議案採決結果一覧

議案審査

議案	賛成	反対	議決結果	菊池	佐藤	村上	塩田	渡邊	藤原	金子	青柳	浅野	若生	長谷川	高橋	菅原	出川	浅野	安住	畑山	渡邊	提案者		
				美穂	浩崇	治	智明	清美	峻	透	信義	武志	英俊	る美	正俊	福治	博一	直子	稔幸	和晴	俊一			
第2回臨時会	令和2年度富谷市一般会計補正予算(第6号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市長提案	
	令和2年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	財産の取得について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第3回定例会	令和2年度富谷市旧可燃ごみ焼却施設解体工事請負契約の締結について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市長提案	
	富谷市立学校の設置に関する条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	富谷市立幼稚園預かり保育条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和2年度富谷市一般会計補正予算(第7号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和2年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和2年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和2年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和2年度富谷市下水道事業会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和2年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	土地の取得の変更について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	土地の取得の変更について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	財産の無償譲渡について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	17	0	原案同意	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	令和2年度富谷市一般会計補正予算(第8号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		議員提案
	財産の取得について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	財産の取得について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
令和元年度富谷市一般会計歳入歳出決算の認定について	15	2	原案認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
令和元年度富谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	15	2	原案認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
令和元年度富谷市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
令和元年度富谷市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
令和元年度富谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
令和元年度富谷市水道事業会計利益処分及び決算の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
総合病院の誘致に関する決議	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

○賛成 ×反対
 ※ 議長(渡邊俊一)は採決に加わりません。
 ※ 「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」は、無記名投票のため各議員の賛否は明示しません。

市政を問う

一般質問

第3回定例会では14人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を17ページから23ページまで発言順に掲載しています。

一般質問の様子はインターネット録画配信でご覧になれます。

また、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

17P 菅原 福治 議員

- 「地域とともにある学校づくり」について
- 市民一人一人の意識を変えるコロナ感染予防ルール of 徹底
- 昨年の台風19号の復旧状況と現況について

17P 長谷川 る美 議員

- 高齢者や障がい者への交通施策は
- 東向陽台放課後児童クラブの早期建て替えを

18P 菊池 美穂 議員

- アフターコロナを見据え税収増に向け、企業誘致に注力

18P 畑山 和晴 議員

- コロナ禍における現在までの検証と今後の方向性について
- 富谷市障がい者計画について

19P 村上 治 議員

- 地域防災計画に基づく市民等への防災知識の普及について問う

19P 青柳 信義 議員

- 葬儀場の設置等に関する指導要綱について

20P 出川 博一 議員

- 本庁・出張所の閉庁時間の今後は
- 小中学校におけるICTを活用した教育方針は

20P 金子 透 議員

- 通学路交通安全対策工事について
- 市道街路樹の維持管理について

21P 若生 英俊 議員

- 各種申請・届出・利用予約をインターネットで
- 65歳以上のインフルエンザ予防接種費用の全額無料化を

21P 浅野 直子 議員

- 子育て支援と健康推進について
- 新しい生活様式の諸施策の具体化について

22P 渡邊 清美 議員

- 台風による洪水対策を問う
- 自然災害時の避難所の対策を問う

22P 塩田 智明 議員

- 新型コロナウイルス感染症の対策強化を問う
- 高齢者フレイル予防の体制整備を問う

23P 安住 稔幸 議員

- 市民活動サポートセンターの設置について
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について
- 都市間交通の整備について

23P 藤原 峻 議員

- 気候危機に対する対策を
- コロナウイルス対策の強化は

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおりに掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 地域とともにある学校づくりとは

答 コミュニティ制度の研究を進める



菅原 福治 議員

評議員制度は導入から20年が経過しており、いじめや虐待等からは疲弊や形骸化が否めません。地域とともにある学校づくりとして、新たなコミュニティ・スクール制度の検討について伺います。

答 加し推進してはどうか。

答 CS派遣事業は、CS導入の具体的な助言が

得られると認識しており、本市の実情を踏まえながら調査研究を進めます。

問 クラスターを発生させられない

答 飲食店事業者にガイドライン徹底

問 冬季の医療体制、感染拡大防止対策は十分か。

答 65歳以上のインフルエンザ接種助成に加えて、エンザ接種助成に加えて、65歳未満の全市民に対しても拡大します。

問 PCR検査による感染拡大の防止については、

答 インフルエンザを前に、さらにPCR検査の拡充を県に要望します。

問 台風19号復旧の現況について

答 かさ上げ、国や県、大和町と協議中

問 台風19号による竹林川、威徳寺周辺の冠水越水の取組状況は。

答 水利組合と協議した結果、今年から北目堰の堰板の一部を外します。

問 あけの平団地北入口歩道の改修実施状況は。

答 沢地の水路と判明し、改修工事を実施します。

問 吉田川と竹林川の合

流地点への遊水池状況は。

※CS（コミュニティ・スクール制度）：学校と地域住民が一緒に、お互いに一定の権限と責任を持ち、学校経営に参画し、より良い教育の実現を目指す考え方。

問 東向陽台児童クラブ建て替えは

答 関係機関との協議等、今後の検討に



長谷川 美 議員

東向陽台小学校児童クラブの老朽化と、設備の不十分さへの認識は。

答 貸借12年目の施設ですが、定期的な点検による安全管理や、必要に応じて施設の修繕や改修を実施しています。

東向陽台小学校児童クラブの建て替えもス

問 同じ利用料金を支払いな

答 保護者からの苦情は今のところありませんが、不都合の箇所については、関係機関との連携調整等

問 高年齢者や障がい者への交通施策は

答 利用限度に個人差があり、自己負担金も1割支払う必要があるため、今まで通りで実施します。

問 高齢者や障がい者への交通施策は

答 利用しやすいように努力します

問 「とみばす」のチャージを、各出張所で行えるための方策は。

答 残高の確認や有効期間内での申請回数など、進捗管理を伴うため市役所での受付になります。

問 「とみばす」新規申請の際、最初から2万円

の申請についての検討は。

答 輸送サービスが十分と判断し、介護タクシーをタクシー利用券助成事業の対象に加えました。



問 企業誘致に向け大胆な予算措置を

答 積極的にインセンティブを設ける

コロナ対策での巨額の

支出は緊急的なものでやむを得ないとの認識は共有されていますが、収束後の一層の財政再建の必要性は強いと考えます。

誘致に、今以上に注力すべきと考え質問をします。

問 高速道路における安全・安心基本計画による仙台北部道路の4車線化工事に併せ、富谷ジャンクションのフル化が望まれますが。

答 早期の事業化に向けて、引き続き精力的に要

望活動を展開します。

問 ローカル5Gを導入する企業への支援、補助金の考えは。

答 導入に当たりICTインフラを地域全体で整備する必要があり、まずは今年度から実施される総務省での開発実証の動向を注視します。

問 本市の企業立地優遇制度に用地取得に係るものを追加し、さらに奨励金の金額を上げる等思い切った施策への考えは。

答 特定区域に指定することで用地取得奨励金の交付は可能であり、今後の誘致状況を勘案しながら指定を検討します。また企業誘致にはインセンティブが有効な手段であることから、さらに思い切った施策を検討します。

問 次世代放射光施設の稼働を見据え、施設を利

用する企業等の誘致活動を強化しては。

答 放射光施設を活用する自動車、航空、医療機器、環境、エネルギー産業、情報通信産業は、本市でも集積を促進すべき産業であり、施設稼働を見据えた誘致活動は本市の産業振興に有効です。

問 当該産業は次世代に向けた成長産業であることから、誘致活動を積極的に展開します。

問 コロナ禍でも行える活動として、訪問企業の選定に全国業者へアンケートを実施しては。

答 現行におけるアンケートの実施は有益であり、年度内の実施を考

え

ます。



菊池 美穂 議員

問 コロナ禍の検証と今後の方向性は

答 最大限の支援体制を取ります

コロナ禍の中で現在までの対応と取組みについて検証が必要であり、今後来るであろう次の波への対応をしていく上で非常に重要になると思

います。

問 休業要請、助成金、検査状況など、国、県との施策の相違をどう捉えていますか。

答 国の支援対策を待つことなく、いち早く独自の支援策を迅速に実施しました。

問 ひとり親が感染した

場合のお子さんの生活をどう確保するのですか。

答 基本は県が対応することになりますが、保健所と連携していきます。

問 新型コロナウイルス

問 富谷市障がい者計画の策定を問う

種々検討し策定を行っています

今、人口の7・4%の方が何かしらの障がい疾患を持っていると言われています。本市に当てはめると3700人となります。この数字をどう捉えるか。障がいのある方、保護者、受け入れ先が安心して、安全に取組み、生活していけることを強く願っています。

問 乳幼児から児童、青年になつての就労、介護保険と障がい者保険の選択の一貫した対応をすべ

きと思いますが、見解は。

答 ライフステージに応じて切れ目のない支援を受けられる体制を構築していくことは、大変重要だと認識しています。

問 介護職員の人材不足と施設不足に対しての本市の対応は。

答 国、県に処遇改善や勤務環境改善を要望し、施設に関しては、法人に対して誘致に努めています。

す。



畑山 和晴 議員



▲ みやぎ企業立地ガイドから転載

富谷市障がい者計画
第5期障がい福祉計画
第1期障がい児福祉計画



とみや議会だより 第17号
2020年(令和2年)11月1日

問 市民への防災知識の普及を問う

答 広報等を活用し普及に努めます

ここ数年、住民に避難を促す警戒レベル4以上気象情報が数多く発表されています。また、新型コロナウイルス感染症は、富谷市内での感染者は少ないものの、一向に収束する気配はありません。このような中、本市では、本年3月「富谷市地域防災計画」を改正し、5月には避難所運営マニュアル改定（概要版）を全戸に配布するとともに、本年2月議会で市職員への教育実施について伺いま



▲ 床上浸水（三ノ関会館）

したところ、さつそく5月に実施したと聞いています。また、国で6月新たに作成された、「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイント」に基づき

「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営方針」を同月には、ホームページに掲載し、対応の早さは、市民の安心安全に大きく寄与しています。

問 防災計画変更について、いつ町内会へ説明しましたか。

答 6月開催の行政区長会議で、概要等を説明し、概要版を全戸配布しました。広報とみや等へ掲載しさらに周知を図ります。

問 指定緊急避難場所、一時避難所を含む指定避難所の普及啓発は、

答 市ホームページの地域防災計画、資料編に掲載しています。広報とみやへ掲載をし、さらなる周知を図ります。

問 市避難所運営マニュアル、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営方針の普及啓発は、

答 職員向け避難所運営マニュアルを5月に策定し、方針は6月にホームページに掲載しました。今後も適宜見直しします。



村上 治 議員

問 市避難所運営マニュアル、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営方針の普及啓発は、

答 職員向け避難所運営マニュアルを5月に策定し、方針は6月にホームページに掲載しました。今後も適宜見直しします。

問 洪水、土砂災害時避難所が変更された三ノ関会館、富ヶ丘小学校、富谷第二中学校それぞれのところへの説明は、

答 三ノ関の町内会館は、町内会長と話をしました。今後、地域の方々に話す場を設けます。

問 近年、家族葬をはじめ葬儀形式が多様化、小規模商業施設跡地に葬儀場建設が行われるということもあると思われ、

答 本市でも、何の前触れもなく団地の空き地、小規模商業施設跡地に葬儀場建設が行われるということもあると思われ、

問 小規模葬儀場に関する規制がないため、葬儀場の建設については、都市計画法や建築基準法に基づいて実施されることになっていきます。

答 建築基準法上、集会所に分類されます。集会所として届け出があれば、葬儀場の建設は可能ですか。

問 葬儀場の設置に関して、病院・学校・老人施設に接近した場所には、設置できないなどの規定はありますか。

問 葬儀場設置の指導要綱が必要では

答 土地利用制限に関わり慎重に対応

近年、家族葬をはじめ葬儀形式が多様化、小規模商業施設跡地に葬儀場建設が行われるということもあると思われ、

問 小規模葬儀場に関する規制がないため、葬儀場の建設については、都市計画法や建築基準法に基づいて実施されることになっていきます。

答 建築基準法上、集会所に分類されます。集会所として届け出があれば、葬儀場の建設は可能ですか。

問 葬儀場の設置に関して、病院・学校・老人施設に接近した場所には、設置できないなどの規定はありますか。

答 法的な制度は無いため、関係書類の提出を求めることは出来ません。

問 第一種住居地域であれば、葬儀場の建設は可能ですか。

答 3000㎡以下であれば建設可能です。

問 紛争の未然防止のため、事前に住民説明会の周知、双方の合意形成を行うことや、葬儀場の設置および管理運営について条例等整備が必要では

答 建物用途を限定する要綱の整備は、土地利用制限をすることになるので慎重な対応が必要です。



青柳 信義 議員

問 規定はありません。葬儀場を設置しようとするときは、葬儀場設置届出書などの規定はありますか。

答 法的な制度は無いため、関係書類の提出を求めることは出来ません。

問 第一種住居地域であれば、葬儀場の建設は可能ですか。

答 3000㎡以下であれば建設可能です。

問 紛争の未然防止のため、事前に住民説明会の周知、双方の合意形成を行うことや、葬儀場の設置および管理運営について条例等整備が必要では

答 建物用途を限定する要綱の整備は、土地利用制限をすることになるので慎重な対応が必要です。

問 葬儀場の設置に関して、病院・学校・老人施設に接近した場所には、設置できないなどの規定はありますか。

答 法的な制度は無いため、関係書類の提出を求めることは出来ません。

問 第一種住居地域であれば、葬儀場の建設は可能ですか。

問 タブレット端末貸出しはいつから

答 来年1月から運用できるように整備

ICT教育に関する今後の小中学校教育の取組について質問します。

問 ICT機器整備の進捗状況は。

答 ネットワーク工事は10月中旬には工事完了の見込みです。端末導入は、これまで児童生徒数の3分の1の台数で配置していましたが、一人1台のタブレット端末の運用は11月からの見通しです。また、タブレットの貸出しは小学校はすでに可能ですが、中学校では来年

1月から運用できるように進めます。

問 タブレット機器購入の財政規模は。

答 今年度、ほぼ国の補助金で小中学校合計約1億9000万円、7月補正予算分の7700万円を入れると約2億6000万円です。

問 タブレット端末の購入と賃貸借ではどちらが有利ですか。

答 費用面で比較すると、賃貸借で5年間使用すると保証料が端末代金とほぼ同程度かかります。そのため、購入し故障や破損にその都度対応したほうが安価に済むと考えています。

問 5年で更新の時期を迎えます。賃貸借で借りるより現金で買ったほうが2分の1に安くなるということも踏まえると、



出川 博一 議員

タブレット端末更新のため、目的基金設立が必要ではないですか。

答 機器等の更新の時期、規模や更新方法など、方向性を定めた上で、基金の創設の必要性について、財政当局と協議、検討しますので、現段階では今後の課題とさせていただきます。

問 教職員のICT指導研修の実施状況は。

答 4月にオンラインで、東京と各学校を結んで実施した、ICT研修会をはじめとして、クラウド事業支援システムの研修、タブレット端末管理研修など、企業の協力も得ながら、臨時休業中に集中して進めました。

問 通学路交通安全対策工事を問う

答 危険箇所は改善工事を実施します

本年度予算書に通学路交通安全対策工事と記載されました。

問 通学路交通安全対策の必要な場所が全て無くなり、児童・生徒の通学の安全が確立されるまで、事業の継続を求めます。

問 市内で、通学路交通安全対策工事の必要な場所は何箇所ですか。

答 本市では毎年、通学路交通安全プログラムに基づき、教育委員会、警察、道路管理者等が連携し、児童・生徒が安全に

通学できるように通学路の合同点検を実施し、指摘のあった箇所は、安全対策工事を速やかに実施しています。

問 通学路交通安全対策工事の必要な全体像を把握し、計画的に改善工事を実施すべきでは。

答 通学路に指定された全ての交差点に、防護柵は設置されていません。

問 市道街路樹の維持管理を問う

答 維持管理費の縮減を図ります

市道街路樹の維持管理費に、毎年約3000万円の支出です。

問 経費の削減を図るべきと考えますが見解は。

答 交通安全に影響のある木や、枯れ木の撤去は補植をせず、維持管理費の縮減を図り今後も継

合同点検で学校やPTAから指摘された箇所を、速やかに対策工事を実施します。全体像の把握は現在のところ困難です。

問 本年度予算計上200万円の根拠、妥当性は。

答 これまでの合同点検で指摘された危険箇所の対策経費が約200万円なので、本年度も200万円計上しました。



金子 透 議員



▲ ICTを活用した授業



▲ 富谷小学校前交差点

続します。
問 土地開発業者へ市道街路樹について指導すべきと考えますが見解は。
答 新たな市街地整備で街路樹の整備は行わないように指導しています。

問 利用申込をインターネットで

答 速やかに検討します

現在、総合運動公園各施設の利用予約は窓口や電話で受付けています。利用者の利便性向上、業務の効率化、対面機会の抑制の観点から質問します。

問 利用予約はインターネットで。

答 有効性は認識していますが、オンラインの利用促進に向けた調査研究を進めます。

問 調査研究の段階から早急に開始すべきです。できない理由は。

答 利用が混在し、システム導入にクリアすべき課題があります。



問 65歳以上インフル接種費無料化を



若生 英俊 議員

問 導入コストは。

答 導入コストは1000万円と試算しています。

問 ネット予約について、

答 速やかに検討を進めていきます。

問 十分軽減が図られています

答 ワクチン供給量に制約がある中で、優先接種者の範囲が議論されています。

問 65歳以上の接種率向上策は。

答 これまでの取組みに加え、各種高齢者向け事業等の機会をとらえて啓発します。

問 65歳未満の方への接種啓発は。

答 広報とみや9月号から12月号で繰返し周知します。10月号では、助成申請や封筒を差し込む予定です。

前例にとられない改革を示す時期では。

問 新しい生活様式の諸施策の状況は

答 公共施設に自動水栓設置予定です

感染リスクを減らす努力、日々の生活スタイルの精神的な支え、そしてオンライン、テレワーク等、質の高い地域社会を築いて行くために、具体的な施策の進捗状況や見直しについて質問します。

問 電磁波過敏症の認識をGIGAスクール研修に盛り込めないですか。

答 ご指摘の意見も生かしながら、今後の研修を考えていきます。

問 非接触の対応として電子図書の整備、導入は。

答 全額無料化する自治体は。

答 塩釜保健所管内では12市町村のうち、5団体が検討または実施の予定です。

問 子育て支援と健康推進について

答 各団体の活動支援として、活動補助金については、一律に削減することなく助成を行っています。今後、貸し出し用非接触型体温計、サーマルカメラの導入を進め、安

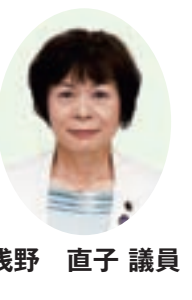
問 丁寧に対応しています

答 10月より定期接種となる、ロタウイルスワクチンについて今年4月から9月までの接種者に一

部補助はできませんか。
答 任意接種のため、補助の対象となりません。



▲ 自動水栓



浅野 直子 議員

全に活動できる環境整備を進めます。

問 感染経路を減らす取組として、公共施設等に自動水栓の設置も必要と考えますが見解は。

答 不特定多数の利用となる施設では、自動水栓化も効果があると認識しています。全ての設置は

多額の費用が見込まれることと、電源供給が途絶切れた場合のこともあり、原則、各トイレカ所に設置する方向で考えられています。

文化芸術、スポーツの活動継続に向けた支援の取組と、今後の見直しについては。

問 文化芸術、スポーツの活動継続に向けた支援の取組と、今後の見直しについては。

答 各団体の活動支援として、活動補助金については、一律に削減することなく助成を行っています。今後、貸し出し用非接触型体温計、サーマルカメラの導入を進め、安

部補助はできませんか。
答 任意接種のため、補助の対象となりません。

部補助はできませんか。
答 任意接種のため、補助の対象となりません。

問 三ノ関会館の浸水対策は

答 まず道路改良の効果を検証し検討

地球温暖化により、台風、集中豪雨の被害が大規模化しています。

設計を行い、発注件数を減らして発注するなど工夫していきます。

問 2度も浸水している三ノ関会館の浸水対策は。

答 市道三ノ関大崎線改良工事では道路の嵩上げと水路の改修工事を併せて行うことから、まずは

後の対策は。

答 県内全体で同じ時期に工事が発注されること

が多く、特に河川工事は対応できる業者が限られており、未契約件数が増加する傾向にあります。

今後の災害復旧工事については、できる限り合算



▲ 三ノ関会館

問 市内には防災、減災の活動をする人もいます。

答 宮城県防災指導員の育成をはかりながら、町内会単位での普及と啓発に努めています。

問 地域防災力の向上のためにも、町内会単位の学習会が必要では。

答 宮城県防災指導員の育成をはかりながら、町内会単位での普及と啓発に努めています。

問 災害はいつ起こるか分かりません。日頃からの備えが大切です。

問 来年度からの開催に向け準備中

災害はいつ起こるか分かりません。日頃からの備えが大切です。

問 地域防災減災活動の学習必要では

市道改良による効果を検証しながら、必要な対策を検討します。

問 水害時、三ノ関地区の避難者の安全確保は。

答 増水前の早めの避難を、特に三ノ関の対象地区に周知します。



渡邊 清美 議員

問 新型コロナウイルスの対策を問う

答 県や医師会と検討を進めています

秋冬に向けて、感染拡大が懸念され、医療提供体制・検査体制の強化が求められています。新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。

多くの方が自分や家族が感染したときに差別や誹謗中傷に遭うのではないかと心配しております。取り組みが必要です。

問 PCR検査センターを設置できませんか。

答 県または保健所を設置している市が主体となって取り組むことにな

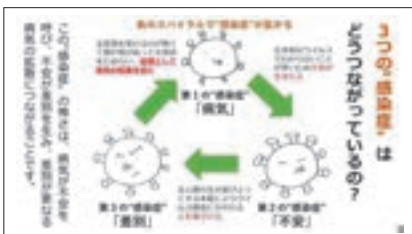
秋冬に向けて、感染拡大が懸念され、医療提供体制・検査体制の強化が求められています。新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。

問 感染者に対する差別や誹謗中傷への対応は。

答 差別を招くような行動は控えるよう報道機関、広報とみや等を通して繰り返し市民に伝えてきました。過去に1件の事例があり、連絡を受けた日に内容を確認し、警察への連絡と、安心安全メールで周知できませんか。

問 フレイル予防の体制整備を問う

答 早い時期の開始を目指します



▲ (出典)日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」

本事業は、高齢者が身近な場所で健康づくりに参加できるようにし、適切な医療や介護サービスにつなげ、疾病予防、重症化予防と健康寿命の延伸を目指すものです。

問 本市の検討状況は。

答 通いの場等を生かした生活習慣病の重症化予防等を検討しています。



塩田 智明 議員

問 市民活動サポートセンター設置を

答 活動拠点の役割は大きいと認識

8月に開催されました「まちづくりの基本となるルールについて」と題したとみやわくわくミーティングで、「ボランティア団体やNPOなど活動されている方々と顔を合わせる場所がない、お互いの情報を知る機会がない、ほかの方々とつながりを持てれば協働のまちづくりができるのではないか」との意見がありました。



他の自治体で、いろいろな団体とつながりの場、交流の場として、市民活動サポートセンターを設置しています。市民活動サポートセンターには、各団体のロッカーが置かれ、有料ですが、コピー機、印刷機なども置かれ、活動しやすいようになっています。

ボランティア、文化芸術等の市民活動における各種市民団体同士の連携、つながりでもちづくりを進めるために、そうした団体の活動拠点を市民活動サポートセンターに置くことも協働のまちづくりを進めるにあたり、重要と考えます。



安住 稔幸 議員

問 協働のまちづくりに

おける市民活動サポートセンターの認識と設置は、協働のまちづくりを推進していく上で、市民活動サポートセンターなどの市民の自主的な活動を支援する拠点の役割は大きいものと認識をしています。

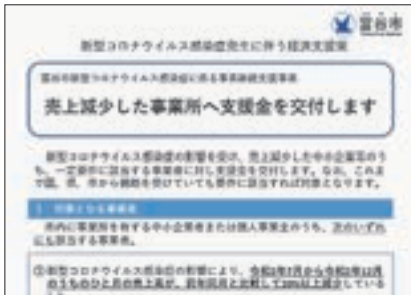
県内で既に設置されている市民活動サポートセンターは、公益的な活動を行うあらゆる団体の活動拠点として、多様なつながりや協働を促進する役割を担っています。

本市では、現在、TOMI+が市民活動を支援する機能も果たしております。市民図書館については、検討してまいりたいと考えています。

問 コロナウイルス対策の強化を

答 継続的支援が必要と考えています

コロナウイルスにより戦後最悪の落ち込み、第2波でさらなる下振れリスクもあります。コロナ解雇や倒産が増えており、地域経済を支える仕組みが必要です。また、貧困の状況にある女性たちが大きな影響を受けており、支援策の拡充を求めます。



答 さらなる拡充などは

行う予定はありません。子供が大学生で一番お金がかかる、固定資産税や所得税も払っているのに、「なぜ」という声をどう感じますか。

答 大学生を抱えている実情はわかるのですが、公的な仕組みの中の限界があります。

問 医療費助成枠は、親、扶養家族1人だと所得で約192万円です。枠の撤廃の検討は。

答 迅速な支給のため県の制度を活用しており、継続したいと考えています。

問 コロナウイルスで経営圧迫されている事業者への下半期の支援策は。

答 引き続き支援が必要と考えています。これまでの1〜6月までの支援に加え、7〜12月のうち



藤原 峻 議員

一月でも売上高が前年比で20%減少している市内事業所に、再度、一律20万円の補助金を交付するため、補正予算に計上しました。

問 富谷の事業所マップによる支援策は。

答 新年度に観光マップ、市ホームページを刷新し、魅力ある観光マップの作成、観光や商品等を分かりやすくしたいと考えています。

問 富谷市割増商品券での情報提供が必要では。

答 締め切り後に申し込んだ場合であっても登録受付を行い、市ホームページに掲載するなど、柔軟な対応を行います。

よりよいまちづくりのために

調査 しました

(6月～8月実施)

委員会活動

各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

◎調査日 7月30日
避難所運営マニュアルが本年5月に改定され、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営方針も定められました。感染リスクを考慮しての避難者への対応や、感染予防対策備品の整備状況を確認しました。

避難所運営では迅速・的確な対応のための、机上訓練や実施訓練等を定期的に実施すべきです。感染症対策備品については、質・量のさらなる充実と点検および定期的な更新が必要です。想定される全ての事案

新型コロナウイルス感染症に 対応した避難所運営 迅速・的確な対応が必要

調査先：富谷市
総務部 防災安全課



総務常任委員会

〈その他の調査先〉

◎調査日 7月30日
公共交通政策

について

に対応できるように、より一層の努力を求めます。

教育のICT化に向けた環境整備 子どもたちの学習向上に期待

調査先：株式会社 ドコモCS東北
法人営業部



◎調査日 7月1日

講師を招き「GIGAスクール構想」について調査しました。

国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」、全国自治体の実施状況や教室での学び、休校期間における教育タブレットの活用事例などを聴き、環境整備、体制

整備のポイントや課題等について、協議しました。ICTの導入により教師の負担増や情報セキュリティのリスク等に対する懸念もありますが、「ICTはもはや文房具、やらないという選択肢はない」ことを共有しました。

本市では、国の補助金を活用し、今年度一人一台のタブレット導入などの整備が行われます。タブレット等の機器は、5年ほどで更新が必要と言われています。そのときに国の助成が受けられるかは未定であり、機器更新の財源確保が今後の課題と考えます。

店舗取得・改修促進制度 市内の空き店舗を 活用しませんか

調査先：富谷市
経済産業部 産業観光課



◎調査日 7月10日

店舗取得・改修促進制度を調査しました。

この制度は、地域振興を通して新たな雇用の確保と事業の活性化を図るもので、市内の空き店舗を活用し、小売店や飲食業、サービス業等を営もうとする創業者への支援事業です。

内容は、店舗取得費や店舗改装費および店舗賃借料等、対象経費の一部を補助します。本市においては、空き店舗や空き屋が散見され、専門小売店が少ないのが現状です。取組みについては、開業の動機を決定付ける意味においても、補助金の前

倒しと、事業者からの相談をスムーズに進めるためにも、空き店舗のデータバンク化と、何より即効性の観点から「富谷塾」塾生との、連携が必ず必要不可欠です。今後は、出店を促進することにより市全体の活性化につなげる事が期待されます。

議員全員協議会を開催しました

7月22日

- (1) 提出予定議案に関するもので、担当部課から説明を行うもの
 - ① 令和2年度富谷市一般会計補正予算(第6号)
 - ② 令和2年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
 - ・ 決算書における債権について
- (3) その他
 - ① 富谷市地域と施設の支え合いモデル事業「とみサポ ころね」について
 - ② 定例会等における一般質問時間等に関する変更の確認について
 - ③ 一般質問に関する見解と留意事項について
 - ④ 水道水ペットボトル飲料「富谷の水」について
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染症患者の発生について
 - ⑥ 2020年度公益財団法人宮城県対がん協会賛助会費のお願いについて

8月25日

- (1) 提出予定議案に関するもので、担当部課から説明を行うもの
 - ① 富谷市立学校の設置に関する条例の一部改正について
 - ② 富谷市立幼稚園預かり保育条例の一部改正について
 - ③ 令和2年度富谷市一般会計補正予算(第7号)
 - ④ 令和2年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - ⑤ 令和2年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

- ⑥ 令和2年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- ⑦ 令和2年度富谷市下水道事業会計補正予算(第2号)
- ⑧ 令和2年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)
- ⑨ 土地の取得の変更について(対象2件)
- ⑩ 財産の無償譲渡について
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
 - ① 富谷市地方創生総合戦略取組状況について
 - ② 市道穀田三ノ関線道路改良事業の進捗状況について
 - ③ 市道三ノ関大崎線道路改良事業の進捗状況について
 - ④ 実績報告書の訂正について
- (3) その他
 - ① 意見書の提出について
 - ② 人事及び諮問案件の表決について

9月15日

- (1) 提出予定議案の追加議案に関するもので、担当部課から説明を行うもの
 - ① 令和2年度富谷市一般会計補正予算(第8号)
 - ② 財産の取得について(対象2件)
- (2) その他
 - ① 決議について
 - ② 人事及び諮問案件の表決について
 - ③ 新型コロナウイルス感染症経済対策の確認について

議会活性化調査特別委員会

7月29日

- ・ 議会活性化調査特別委員会
- ・ 長期欠席議員の議員報酬減額条例の検討について
- ・ 富谷市議会災害行動マニュアルの検証について

9月1日

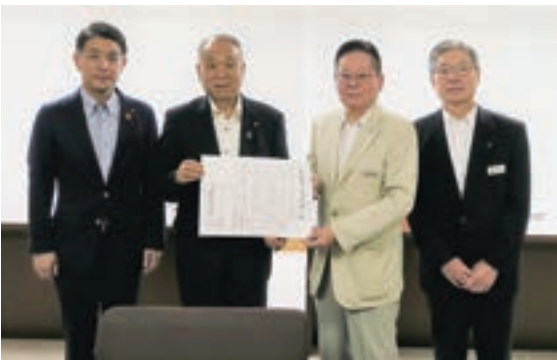
- ・ 議会活性化調査小委員会
- (1) 長期欠席議員の議員報酬減額条例の検討について
- ・ 条例化の検討
- ・ 議会基本条例との兼ね合い
- ・ 地方自治法203条と公職選挙法199条の2に

- (2) 富谷市議会災害行動マニュアルの検証について
- ・ 連絡網および災害時の役割について
- ・ 被災地の現場検証について
- ・ 市民への情報について

9月10日

- ・ 議会活性化調査特別委員会
- ・ 長期欠席議員の議員報酬減額条例の検討について
- ・ 富谷市議会災害行動マニュアルの検証について

富谷市シルバー人材センターから支援の要望



令和2年8月18日、公益社団法人富谷市シルバー人材センターの鈴木理事長から議長に、人生100年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望書が提出されました。
内容は就業意欲のある高齢者の受け皿として地域社会の発展のため、事業推進に係る補助金や事業発注の確保などを要望するものです。

全国市議会議長会表彰



全国市議会議長会から、本市議会の渡邊俊一議長が表彰されました。全国市議会議長会表彰規定に該当し、地方自治の振興発展に功労があったと認められたものです。

政務活動費の収支を報告します

○会派等別収支内訳

平成31年4月～令和元年9月

(単位：円)

会派名(人数)	申請額	支出額	戻入
日本共産党 (2人)	180,000	28,040	151,960
みらい富谷 (3人)	270,000	244,011	25,989
新星とみや (4人)	360,000	213,892	146,108
ネクスト富谷 (3人)	270,000	0	270,000
議員 (6人)	540,000	106,946	433,054
計(18人)	1,620,000	592,889	1,027,111

※未申請者2人

令和元年10月～令和2年3月

(単位：円)

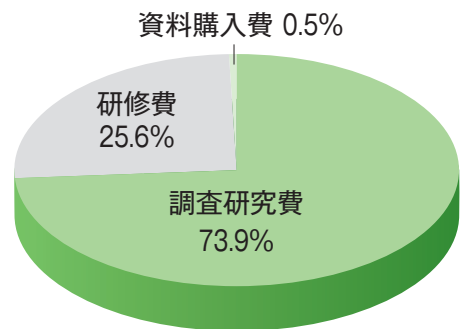
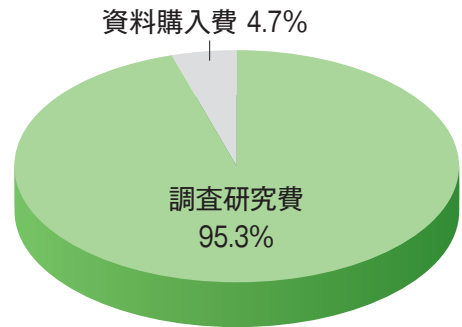
会派名(人数)	申請額	支出額	戻入
公明党 (2人)	180,000	90,000	90,000
日本共産党 (2人)	180,000	72,680	107,320
新星とみや (5人)	450,000	450,000	0
とみや自由市民の声(3人)	270,000	270,000	0
議員 (6人)	540,000	334,720	205,280
計(18人)	1,620,000	1,217,400	402,600

※政務活動費(一人当たり上限月額15,000円)実支出

※改選により半年に分けて申請

○用途別内訳

(支出額は各会派及び議員の用途項目別の合計額です)



◎ホームページでも公開しています

閲覧手順

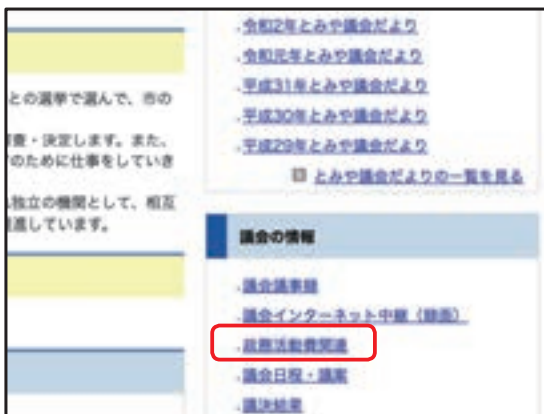
- ①富谷市議会ホームページを検索

富谷市議会

検索



- ②ページ右下段の「政務活動費関連」をクリック



- ③各年度の収支報告書を公開しています。(平成29年度より領収書も公開)





▲ 小学校への出前授業

本校は平成6年に仙台北地区の新設校として創設された男女共学の全日制普通高校です。令和元年度よりこれまでの3コース制から普通科一括募集に変わり、2年次より多様な進路選択に対応するため「人文」「国際」「理数」の3類型が選択可能になっています。本校では国際理解に力をいれて教育活動を行っており、平成26年ユネスコスクールに加盟しました。持続可能な社



▲ エネルギーフォーラムの発表

会の形成を目指す上で、SDGs（持続可能な開発目標）の諸課題をもとにした「T-time（総合的探究の時間）」の授業で「生きる力」を育みます。富谷市在住の生徒が全体の約4割を占めており、市唯一の高校として、昨年度は「未来水素エネルギーフォーラム(富谷)」で「富谷の未来予想図」を発表し、「マーチングフェスティバル」「とみや国際スイーツ博覧会」等への参加や地域の小学校への出前授業、福祉施設への訪問等地域との連携を密に活動しています。

<表紙紹介>

二ノ関の晩秋

秋の田園風景をバックに一面、鮮やかに広がる彩り道端のコスモスは見事です。

「はなみずき」とともに

まえだ よしこ
前田美子さん(富ヶ丘)

みんなの広場



東日本大震災に見舞われ強い余震が続く不安いっぱいの毎日を過ごしていたそんな時、友人数人で何か近所の皆さんにお手伝いできることが有るのではと話し合ったそこで「助け合いの心を地域の福祉活動に生かそう」と決め、迷わずボランティア活動を始めることとなり、会の名前を「はなみずき」としました。活動は、高齢者や地域の方が集まれる「お茶飲み会」。希望される高齢世帯と一人暮らしや体の不自由な方のお宅にお便りを持参して玄関先で僅かな時間ですが健康や近況についてお話を「お元気ですか。訪問活動」などです。現在「お茶飲み会」は参加者が50人程で年4回行なっています。まもなく第35回を迎えます。「お元気ですか。訪問活動」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け直接お会いすることが無理なため、お便りをポストにお届けしています。日頃より地域を大切に思う仲間と一緒に心を一つに活動することが私の生きがいとなっています。

編集後記

コロナ感染予防のため、新しい生活様式の実践にご協力頂いている市民の皆さまに、心からの敬意と感謝を申し上げます。今月号は、令和元年度決算質疑を含め、盛り沢山の内容となりました。若い世代の方から、

「議員の方はどんなお仕事をされているのですか」と多く聞かれます。この「議会だより」が、議会や市政に興味を持ち、身近に感じていただくきっかけになればと思います。幅広い世代に愛読される記事を目指し、委員一同、今後も新しいアイデアを提案していきます。

広報委員 菊池美穂